

すくすく仁尾っ子シアターⅨ

どなたでも申込みいただけます

回 覧

すくすく仁尾っ子シアター

とらまる人形劇団公演



2022年9月11日(日) 13時30分~15時30分(開場:13時)

場 所：仁尾町文化会館 (1階 多目的ホール)
定 員：60名 (先着順) 入場料：無料
公 演：一般財団法人とらまる人形劇研究所
主 催：特定非営利活動法人 まちづくり推進隊仁尾

とらまる人形劇団 第18回作品
◆ごめんね、シロ
丹後地方(京都府宮津)の民話「犬の碑の話」より

- ※1 小学生未満は、保護者同伴でお申込みください。
- ※2 駐車場には限りがございますので、徒歩・自転車・乗り合わせ等ご協力をお願いします。
・近隣の方の迷惑になりますので、路上駐車は絶対遠慮下さい。
・文化会館駐車場の他、市民センター仁尾駐車場・旧仁尾保育所跡駐車場もご利用下さい。
- ※3 会場内は、原則飲食禁止ですが水分補給の飲み物は構いませんので、各自ご用意ください。
- ※4 新型コロナウイルス感染予防対策として、マスク着用・検温・手指消毒等のご協力をお願いします。
- ※5 感染状況により中止または延期になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

【申込み・問合せ先】

まちづくり推進隊仁尾 (市民センター仁尾内) ☎ : 0875-82-5207

☆右記 QR コードを読み取り、申込みフォームからお申込みいただけます。



※キリトリ※

「すくすく仁尾っ子シアターⅨ 人形劇」 申 込 書

まちづくり推進隊仁尾

代 表 者	氏名	電話番号	自宅	
	住所		携帯	
同 伴 者	氏 名 (フリガナ)		備 考	
				歳 年生
				歳 年生
			歳 年生	

【お申込み : 8月26日(金) 締切り】 まちづくり推進隊仁尾 (市民センター仁尾内) までご提出ください

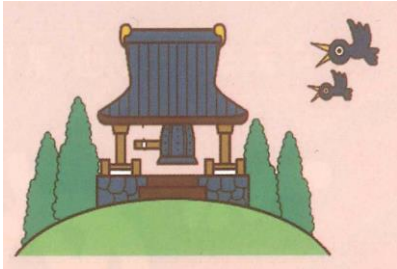
【上演作品あらすじ】

ごめんね、シロ

丹後地方(京都府宮津)の民話「犬の碑の話」より

たはた こ の こ おか こ
田畑を越えて、野を越え、丘を越え…

おしょう やくそく まも けんめい はし い
和尚さんとの約束を守るため シロは懸命に走って行く!



むかしむかし、山のてっぺんのお寺に、おこりんぼうの和尚さんと、やんちゃな小坊主さんと、シロという名のかشيこい白犬が暮らしていました。和尚さんは、シロをとてまかわいがっていましたが、いねむりをしたり、忘れ物をしたり、お経のけいこをサボったり、失敗してばかりの小坊主さんは、いつも和尚さんにガミガミ怒られていました。

ある日のこと、和尚さんは小坊主さんと呼んで、庄屋さんへ手紙を届けるように言おうとしましたが、思い直して、シロに頼むことにしました。大事な手紙だから、庄屋さんの返事をもらって、夕方の鐘が六つ鳴るまでに帰って来るように和尚さんが言いつけると、シロはワンと鳴いて、元気よく出かけました。

それを物かげで見ていた小坊主さんは悔しくてたまりません。「チェ、和尚さんったら、いつもシロばかりかわいがって、おいらにはガミガミお説教ばかり。悔しいなあ…、そうだ、ちょっとイタズラをしてやろう。」と小坊主さんは軽い気持ちで、いつもより早く鐘を鳴らして、シロを困らせてやることにしました。

シロが手紙を届けて庄屋さんの返事を待っていると、山寺の鐘の音がゴオーンと聞こえました。驚いたシロは庄屋さんが手紙の包みを首に巻いてくれるのも待ちきれず、慌てて走りだしてしまいました。そして二つ目の鐘が…。田畑を越え、野を越え、丘を越え、和尚さんとの約束を守るためにシロは懸命に走ります。遅れを取り戻そうと近道をして、キケンな山道を走って行きます。三つ目、四つ目の鐘の音が聞こえます。シロは必死で走り続けます。…シロは六つ目の鐘が鳴り終わるまでに、無事に帰り着くことができるのでしょうか？



公演イメージ